

よくわかるマスター 日商 PC 検定試験 データ活用 2 級 公式テキスト&問題集

Excel 2016 用補足資料

「よくわかるマスター 日商 PC 検定試験 データ活用 2 級 公式テキスト&問題集」(型番:FPT1512)は、Windows 8.1 環境の Excel 2013 で学習する場合の操作手順を掲載しています。Windows 10 環境の Excel 2016 で学習する場合の操作手順の違いについては、次のとおりです。

頁	章	見出し	学習時の注意事項
P.5	本書をご利用いただく前に	5 学習環境について	<p>「◆画面解像度の設定」の操作手順③～⑥を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《ディスプレイ設定》をクリックします。 ④《ディスプレイの詳細設定》をクリックします。 ⑤《解像度》の▼をクリックし、一覧から《1024×768》を選択します。 ⑥《適用》をクリックします。 ※確認メッセージが表示される場合は、《変更の維持》をクリックします。</p>
P.6	本書をご利用いただく前に	6 学習ファイルのダウンロードについて	<p>「◆ダウンロード」の操作手順②、⑦～⑨を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>②タスクバーの《Microsoft Edge》をクリックします。</p> <p>⑦ダウンロードが完了したら、《閉じる》をクリックして、Microsoft Edge を終了します。 ※Windows 10 では、⑧～⑨の操作は不要です。</p>
P.7	本書をご利用いただく前に	6 学習ファイルのダウンロードについて	<p>「◆ダウンロードしたファイルの解凍」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《ダウンロード》をクリックします。 ※《ダウンロード》が表示されていない場合は、《PC》をクリックします。</p>
P.8	本書をご利用いただく前に	6 学習ファイルのダウンロードについて	<p>「◆ダウンロードしたファイルの解凍」の操作手順⑧を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑧《フォルダーの選択》をクリックします。</p>
P.155	第 6 章 ピボットテーブルの活用	STEP4 ピボットテーブルの編集	<p>「操作のポイント スライサーの挿入」の操作手順◆を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>◆ピボットテーブル内のセルを選択→《分析》タブ→《フィルター》グループの《スライサーの挿入》</p>
P.166	第 7 章 グラフの活用	STEP3 レーダーチャートの作成	<p>「Let's Try グラフの作成」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《グラフ》グループの《等高線グラフまたはレーダーチャートの挿入》をクリックします。</p>
P.187	第 7 章 グラフの活用	STEP5 Z チャートの作成	<p>「Let's Try グラフの作成」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③《グラフ》グループの《折れ線/面グラフの挿入》をクリックします。</p>

頁	章	見出し	学習時の注意事項
P.195	第7章 グラフの活用	STEP6 パレート図の作成	「Let's Try 基本グラフの作成」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。 ④《グラフ》グループの《縦棒/横棒グラフの挿入》をクリックします。
P.194 ~197	第7章 グラフの活用	STEP6 パレート図の作成	「2 パレート図の作成」 補足:《複合グラフの挿入》を使って複合グラフを作成することもできます。 ◆セル範囲を選択→《挿入》タブ→《グラフ》グループの《複合グラフの挿入》
別冊 P.10	確認問題 解答と解説	第6章 ピボットテーブルの活用	「問題 1 ●ピボットテーブルの作成(時間帯ごとの数量の集計)」の操作手順⑩~⑮を、次の手順に置き換えてください。 ⑩「受付時間」が時間単位でグループ化されていることを確認します。 ※⑪~⑮の操作は不要です。
別冊 P.14	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	「問題 1 ●折れ線グラフの作成(Z チャート)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。 ④《グラフ》グループの《折れ線/面グラフの挿入》をクリックします。
別冊 P.15	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	「問題 2 ●複合グラフの作成(パレート図)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。 ④《グラフ》グループの《縦棒/横棒グラフの挿入》をクリックします。
別冊 P.17	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	「問題 3 ●値軸の設定」の操作手順⑨を、次の手順に置き換えてください。 ⑨《単位》の《目盛》に「15」と入力します。
別冊 P.17	確認問題 解答と解説	第7章 グラフの活用	「問題 3 ●値軸の設定」の操作手順⑭を、次の手順に置き換えてください。 ⑭《単位》の《目盛》に「1250000」と入力します。
別冊 P.23	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	「問題 2 ●値軸の設定・目盛線の表示」の操作手順⑨を、次の手順に置き換えてください。 ⑨《単位》の《目盛》に「35000」と入力します。
別冊 P.23	第1回 模擬試験 解答と解説	実技科目	「問題 2 ●値軸の設定・目盛線の表示」の操作手順⑭を、次の手順に置き換えてください。 ⑭《単位》の《目盛》に「10」と入力します。
別冊 P.29	第2回 模擬試験 解答と解説	実技科目	「問題 2 ●複合グラフの作成(パレート図)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。 ④《グラフ》グループの《縦棒/横棒グラフの挿入》をクリックします。

頁	章	見出し	学習時の注意事項
別冊 P.34	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>「問題 1 ●ピボットテーブルの作成(支店ごとの売上高の集計)」の操作手順⑫～⑮を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑫《単位》の《月》と《四半期》と《年》が選択されていることを確認します。</p> <p>⑬《OK》をクリックします。</p> <p>※⑭～⑮の操作は不要です。</p>
別冊 P.34	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>「問題 1 ●ピボットテーブルの作成(支店ごとの売上高の集計)」の操作手順⑳～㉑を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>⑳セル【A9】を選択します。</p> <p>※行ラベルエリアの「東京」のセルです。</p> <p>㉑アクティブセルの枠線をポイントし、マウスポインターの形が変わったら、セル【A7】の下までドラッグします。</p> <p>※ドラッグ中、緑の線が表示され、移動先が確認できます。</p>
別冊 P.34	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>「問題 1 ●ピボットテーブルの作成(支店ごとの売上高の集計)」の操作手順に、次の操作を追加してください。</p> <p>㉒セル【N4】を右クリックします。</p> <p>※年の集計のセルであれば、どこでもかまいません。</p> <p>㉓《“年”の小計》をクリックします。</p> <p>※N 列と S 列に表示されていた年の集計が非表示になります。</p>
別冊 P.34	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>「問題 1 ●値の貼り付け(売上高・小計の表示)」の操作手順③を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>③「Sheet1」のセル範囲【B7:R12】を選択します。</p>
別冊 P.35	第3回 模擬試験 解答と解説	実技科目	<p>「問題 2 ●折れ線グラフの作成(Z チャート)」の操作手順④を、次の手順に置き換えてください。</p> <p>④《グラフ》グループの《折れ線/面グラフの挿入》をクリックします。</p>

以上